



しまむら たかひこ

豊島区議会議員 島村 高彦 《誠実・スピード・サービス》

4期2年目の議会役職は下記のとおりとなりました。

- ◎子ども文教委員
- ◎環境・清掃対策調査副委員長
- ◎防災会議委員
- ◎消防団運営委員
- ◎保健福祉審議会委員
- ◎国民健康保運営協議会委員



今回は、これまで長期間にわたって取り組み、
流れが変化した活動・実績の一部についてご報告申し上げます。

保育園待機児童解消に猛追!

現在、大きな社会問題となっている保育園に入れない待機児童の問題。3年以上前の平成25年3月の予算委員会では私は徹底した**待機児童対策を強烈に要望**。

結果、平成26年度中に100名ほどの受け入れ枠の増加しか検討していなかった本区に対して危機感を持たせたことにより、「**待機児童対策緊急プラン**」が策定。平成27年度までに**約400名の受け入れ増を実施**させました。

また、対策の1つとして、速やかに対応できる小規模保育園の開設も要望。当時、国は消費税が8%に引き上げられた1年後の平成27年度から、この小規模保育園の開設助成を行うこととなっていたことから、だいぶ先のこととなってしまいます。

そこで、それまでの間、都議会公明党の提案により、東京都が先行して助成を行うことが決定。すなわち

小規模保育「東京スマート保育」です。

当時、都の予算説明会に出席し、この話を聞きつけたことから、すぐに、区に対してこれを取り上げるように要望。

結果、都内初の東京スマート保育が豊島区でスタート。現在、地域型保育として、区内27か所で運営されています。

その後、区は平成25年4月に32園だった認可保育所を本年4月で47園まで増やし、**園児の受入れ総定員も3,773名から5,339名まで増加させました**。23区内には、現在、待機児童数が1,000名を大幅に超える区もある中、本区は105名までに抑えることができました。

しかし、未だ、保育園に預けられずに困っている方がいる中で、今後についても一日も早い待機児童解消に全力を尽くしてまいります。

総合防災システムが完成!

区民に自助・共助に取り組んでもらうためには、行政としても、しっかりと公助に取り組まなければなりません。私は東日本大震災発生以前に、あの阪神大震災の被災地で編み出された「**被災者支援システム**」を本区も導入するように**発言・要望**を重ねてまいりました。



区としては、検討するとしながらも、手間と経費の関係からか、なかなか実現には至りませんでした。しかし、そうこうしているうちに、あの東日本大震災が発生。豊島区内においても、

避難所や帰宅困難者の対応に課題があることが判明し、改めて区の防災対策を見直すとともに、新庁舎の完成に合わせ、「**被災者支援システム**」の**各種機能を包含**し、かつ、それに加えて区内51か所の防災カメラの映像と世界初の群衆行動解析システムを搭載した「**総合防災システム**」の**導入を決定**しました。

そして平成27年8月末、システム完成。あとは、実際の災害時に有効な運用が可能となるように平常時における試験運用等、区民を効果的に支援できる体制整備に取り組むように提言してまいります。



新一年生応援保育が2年生にまで拡充!

平成22年の冬、保育園の延長保育を利用している保護者から、「これまで、保育園に迎えに行っていた子どもが、この春から小学生になるが、そのとたん急に、ひとりで下校させることが、不安でならない。自分が仕事が終わって迎えにいけるよう、**最初の1学期だけでも学童クラブの預かり時間を午後7時まで延長できないか**」との相談がありました。

学童クラブの預かり時間は、午後6時まで。一方で、延長保育を行っている区内保育園の多くが、午後7時以降まで保育を実施しております。全国的には、共働き世帯の急増により、低学年を預かる学童クラブは終了時間を午後7時までに延長するところが増加していました。

そうした中、東京都は平成23年度から「公設民営・民設民営」の時間延長を開始する学童クラブに対して、運営経費を補助することを決定いたしました。

しかしながら、豊島区の学童クラブは全て「公設公営」であり、補助対象外です。

子の成長のために、自身で安全を守り、登下校する力を養っていくのも、保護者の大切な役割です。

しかし、午後6時といえば、季節によっては暗くもあ

り、全国的には、子どもを取り巻く事件も多い中、ひとりで誰も帰宅していない自宅に下校することに対する、不安な気持ちも理解できます。そこで、その後すぐの一般質問で預かり時間の延長を訴えました。

また、同保護者による陳情も議会に提出されました。区は検討するとしながらも、本音では「区内に需要は少ない」との分析。また、議会においても、結局、継続審議となってしまいました。

私自身は潜在的な需要も含めれば、相当な要望があると確信し、その後も訴えを継続。また、区民からも、声が上がりはじめ、**平成23年4月、ようやく、需要の見込まれる地域を選定し、学童クラブの預かり時間延長が実現。これが「新一年生応援保育」**です。

そして、現在、平成28年4月からは、**新たに2年生も対象に加え、仰高小、清和小を含む、5学童クラブで午後7時まで運営**しております。



巣鴨橋改修工事が実施!

長年の地域住民の声を受け、国土交通省国道事務所に直接、要望と談判を継続した結果、巣鴨橋の改修工事が実現しました。歩道も広くなり景観もスッキリしました。

こちらが



こうなります



平成28年9月頃完成予定。



ご相談・ご要望は
お気軽に!!

住所：〒170-0002 豊島区巣鴨 1-4-6-501
携帯：090-2545-9734 E-mail：3komei@a.toshima.ne.jp
役所控室：豊島区役所 9F 公明党議員控室
豊島区南池袋 2-45-1 TEL：03-3981-1428
<http://www.takahiko-shimamura.com/>

